

# 事業評価調書

## ◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	24583	
事業名	NoMaps事業費						
評価担当課	所属名	経)経済戦略推 イノベーション					
	課長名	吉田 泰斗	担当者名	梶原 雄揮	電話番号	211-2379	
施策名	主	創造性を生かしたイノベーションの誘発					
	副						
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	○ 対象 ● 対象外			
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費						
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理						
事業内容	実施形態	○ 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ● その他					
	目的	短期	企業、クリエイター、研究者等、産業振興に繋がる参加者の増加を図るとともに、イベントの知名度を向上する。 (アクションプラン目標(R4年度):雇用保険適用事業所ベースの開業率5.5%)				
		長期	クリエイティブ人材・技術の発掘・育成・交流を通じて、クリエイティブ産業の活性化と他産業への波及、創業支援・新産業の創造・投資を促進するとともに、クリエイティブな市民文化の醸成、札幌・北海道の国際的知名度・魅力を向上する。				
	取組内容	先端テクノロジーや斬新なアイデアを軸としたセミナーや展示、さまざまなイベント等を通して「新しい価値観」「新しい文化」「新しい社会の姿」を提案し、新たなビジネスを生み出すとともに、加速させるための場を創出。 ①Conference(会議)②Exhibition(展示)③Event(興行)④Meet-up(交流)、⑤Experiment(実験)の5つの事業区分から構成される各種事業を展開。					
実施結果	「NoMaps2021」を令和3年10月13日(水)から17日(火)までの5日間をメイン会期とし、オンラインを中心に開催。期間中、各事業の事業数及びオン/オフライン参加者及び再生回数は【Conference】46セッション・視聴回数8,768回、【Exhibition】1事業・来場者数496人、【Event】2事業・<Apex Legends NoMaps CUP2021>視聴回数2,055人、<北海道ドローンサッカー大会>参加者数535人、【Meet-up】2事業・参加者数180人、【Experiment】1事業・参加者数46人。						
事業実施における工夫点	事業体制については、平成28年4月に地元の産官学で構成される実行委員会を発足。事業の企画・運営は地元企業を中心にして民間主導で進められている。						
対象者	市民、IT・クリエイティブ産業関連事業者等			開始	平成28年度	終了	0年度
関連法令・条例・要綱等							
他都市の状況	類似イベント: SXSW(サウスバイサウスウエスト)(テキサス州オースティン)、078(ゼロナナハチ)(兵庫県神戸市)、明星和楽(福岡市)、YouGoEx(東京港区・竹芝)						

## ◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	30,000	25,000	25,000	20,000	
うち特定財源	0	0	0	0	
人工	1.6	1.6	1.6	0.8	
人件費	11,520	11,520	11,520	5,400	
計(事業費+人件費)	41,520	36,520	36,520	25,400	
事業費の内訳	令和3年度決算	NoMaps開催負担金: 25,000千円			
	令和4年度予算	NoMaps開催負担金: 20,000千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
活動指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
成果指標1	指標名	開業率(雇用保険適用事業所ベース)			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	5.30%	5.20%	4.80%	5.50%	
成果指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	コロナの影響により、昨年度に引続きオンラインを主軸とした開催となったビジネスカンファレンスにおいては、道内外から新しい社会を創るイノベーターの登壇が多数あり、収録配信、会場からの生配信、オンライン配信、オンサイト開催と多様な手法でセッションを展開し、講演・ディスカッションともに活気ある充実した内容となった。オンラインのメリットである遠隔からの参加を含め、多くの参加者を集めることができ、イベント知名度の向上につなげた。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	「NoMaps2021」を令和3年10月13日(水)から17日(火)までの5日間をメイン会期とし、オンラインを中心に開催。期間中、各事業の事業数及びオン/オフライン参加者及び再生回数は【Conference】46セッション・視聴回数8,768回、【Exhibition】1事業・来場者数496人、【Event】2事業・<Apex Legends NoMaps CUP2021>視聴回数2,055人、<北海道ドローンサッカー大会>参加者数535人、【Meet-up】2事業・参加者数180人、【Experiment】1事業・参加者数46人。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	NoMapsは地元の産学官で構成される実行委員会が主催し、事業の企画運営は民間主導である。実行委員会のメンバーも多業種で事業内容を網羅できる体制のため、適切な実施主体である。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに込えているか)	B	引続きオンラインを主軸とした開催となったが、これまで同様に多様なテーマのカンファレンスや魅力的なコンテンツを展開し、同規模での開催をすることができた。またオンライン2年目となり、eスポーツ大会を実施するなど、オンラインならではのコンテンツも拡充。昨年度に引続きオンラインでの交流の場も設置しているが、やはりオンラインでは関係者同士の交流の場としては不十分であり課題が残った。			
市民参加の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 企画 <input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input checked="" type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応	<input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映	
今後の改善点	引続きオンラインを主軸とした開催となったが、これまで同様に多様なテーマのカンファレンスや魅力的なコンテンツのイベントを展開し、同規模での開催をすることができた。今後は、多様な方が集まり、交流し、新たなビジネスを生み出していく場を作るといったNoMapsが本来目指す姿をオン/オフラインをうまく活用することで実現していき、新産業の創造や企業誘致、都市の魅力向上の目標の下、年間を通じたプラットフォームとなるよう取り組んでいく。				
前回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	NoMaps初の総合プロデューサーを立て、会期中、まちなか同時多発フェスとして更なる盛り上がりを作っていく。		見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	コロナ禍のため、昨年度に引続きオンラインを主軸とした開催となったが、これまでと同規模の内容での開催ができています。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	● 改善 ○ 現状維持 ○ 休止・廃止 開業やスタートアップの創出、都市の魅力向上など、本市の経済振興に繋がる取組を行っていく。			
	予算	● 拡充 ○ 現状維持 ○ 縮小 ○ その他 企業版ふるさと納税でNoMaps事業への寄附金を活用し、事業を継続していく。		見直し効果額	0